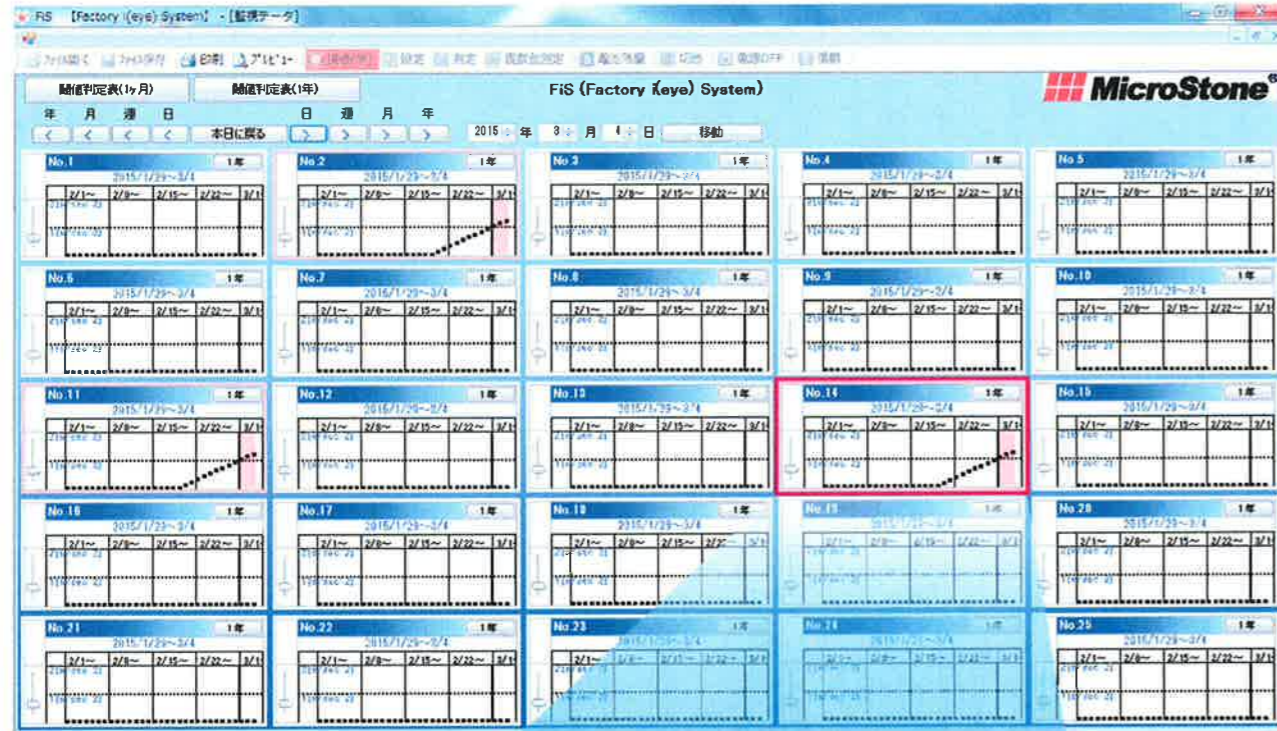


# 無線振動監視システム MVP-FIS-S01 ソフトウェア画面・機能

振動レベルの推移の傾向から、  
トラブル・故障の発生を事前に予測

さらに、25台の一覧表示、1年間の経過表示も可能  
設備ライン全体の異常発生状況を捉えられます。

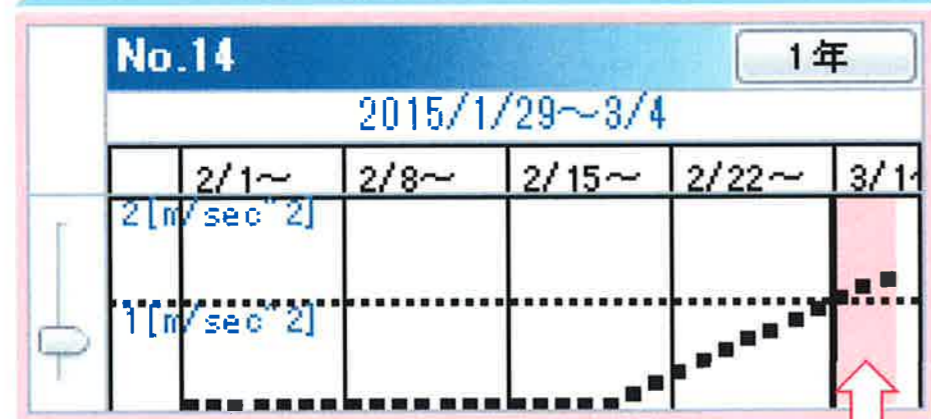


閾値判定表

1年間表示グラフ



振動レベルのデータを  
RMS値にて判定し、一覧表示

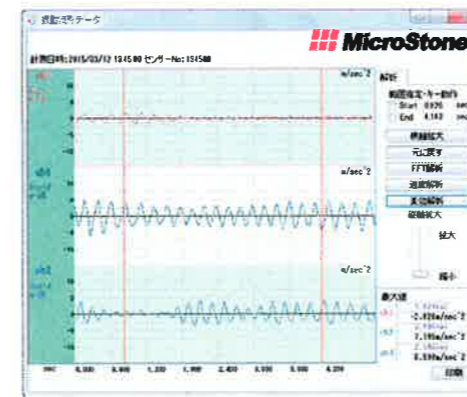


設定した閾値を越えたデータを異常判定。  
画面が赤くなります。

異常

見たいデータをクリック  
してデータ解析を実行

## データ解析

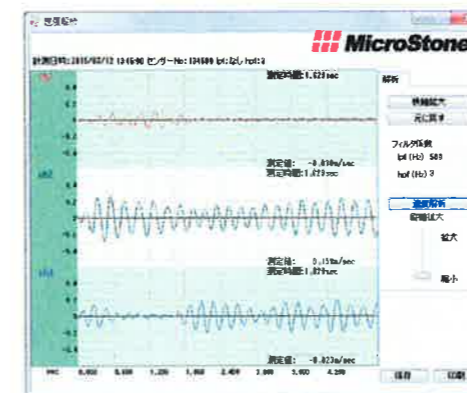
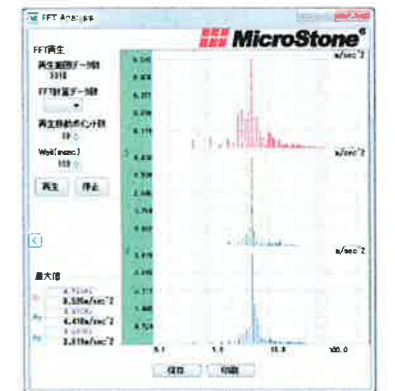


### ① 振動波形表示(加速度波形生データ)

- ◎見たいデータ点をクリックすると計測データ波形(加速度)を表示します。
- ◎一般的に振動する装置は故障前に振動=加速度レベルが大きくなる傾向があり、予防診断の指標として効果的な場合があります。

### ② FFT 解析

- ◎波形表示画面で範囲指定し、「FFT解析」ボタンをクリックすると各周波数ごとのパワースペクトル値を表示します。
- ◎発生した振動の周波数を知ること、振動発生の原因が特定できる場合があります。



### ③ 変位解析、速度解析

- ◎「変位解析(速度解析)」ボタンをクリックすると振動の加速度を、わかり易い「変位」、「速度」で表示します。
- ◎ローパスフィルタ、ハイパスフィルタ設定機能を搭載しているので、フィルタリングにより欲しい振動データを抽出することも可能です。
- ◎LPF、HPF設定部  
フィルタ定数を変更し、「変位解析(速度解析)」ボタンを再度クリックすると変位、速度解析結果に反映します。